台風21号襲来!!

集中豪雨による水害多発

（右上）水位が橋面を越え通行止めになった千種川の隅見橋
（右下）桜トンネルの土手を越えた濁流につかる駐車中の車（上郡地区内）
（上）大きくえぐり取られた大富川沿いの道（大杉野）

9月29日(水)、台風21号が夕方から夜半にかけて西播磨地域を直撃し、上郡町内各所にも大きな被害をもたらしました。

夕方、西播磨の広範囲を雨雲が覆い雨脚が強まると、町内の川の水位は短時間で上昇し、千種川では水面が上郡中学校前にかかる隈見橋の橋面を越えました。

役場には川の状況や道路への冠水を告げる通報が相次ぎ、雨の中、町職員や消防団員が土嚢積み作業やポンプ車による排水作業を実施、避難勧告が1,050世帯（3,150人）に出され、215世帯（557人）が各地区の非難所に避難しました。

夜半過ぎには雨が上がり警報も解除されましたが、洪水による床上、床下浸水等の家屋被害、道路の崩落や、農作物への被害などがあり、台風21号は上郡町に大きな爪跡を残しました。

浸水ゴミが山積みになった環境センター（岩木）

台風の爪跡が残る千種川の親水広場

堤防下の車が浸水（鞍居川）

台風被害状況

台風時の気象状況

- ●総降水量　219.0ｍｍ（9月28日20時～9月29日23時）
- ●最大時間雨量　29.5mm（9月29日13時～14時）
- ●風速（平均風速最大値）北西の風19.2m/s（9月29日20時）
- ●千種川河川水位（最高水位）6.18ｍ（9月29日21時30分）【参考：警戒水位は3.4m】

台風21号の被害（10月3日現在）

- ●人的被害　負傷者　1人
- ●家屋被害　床上浸水　218戸　床下浸水　563戸
- ●避難関係

避難勧告　1,050世帯（3,150人）
・17時25分　尾長谷・緑ヶ丘住宅周辺
・20時30分　駅前地区、山野里地区、竹万地区

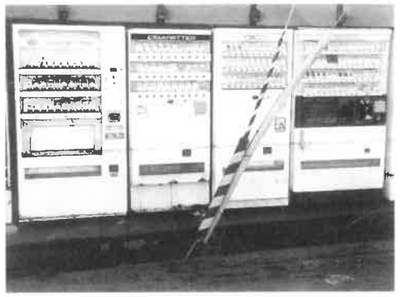
自主避難　100世帯（400人）

避難者数　215世帯（557人）
- ・上郡地区　125世帯（316人）
- ・山野里地区　48世帯（141人）
- ・高田地区　17世帯（37人）
- ・鞍居地区　2世帯（2人）
- ・赤松地区　12世帯（40人）
- ・船坂地区　11世帯（21人）

公共施設・道路等の被害（10月3日現在判明分）

- ●公共施設
  - ・公共下水道施設　8ヵ所（上郡浄化センターほか）
  - ・農業集落排水施設　3ヶ所（苔縄処理場ほか）
- ●道路冠水　国道　373号線（大枝、与井）
  - 県道　西新宿上郡線（大枝新）
  - 町道　（町内各所）　ほか
- ●土砂崩れ　県道　5号線（楠）、28号線（金出地）、野桑・有年停車場線（佐用谷）
  - 町道　（町内各所）　ほか
- ●農業関係(水稲被害)
  - 栽培面積　469.1ha
  - 被害面積・174.2ha(37.1%)
  - 被害減収量261.3ｔ

▶冠水で倒れた稲



自動販売機に付着したゴミが浸水状況を記す（上郡地区内）

鞍居川の濁流が鞍居地区と上郡川東地区を襲いました。高田川や安室川の周辺でも被害が報告されました。

救助の対応も現地で待たれる住民の皆さんに満足の行く対応ができず、お叱りの声もいただきました。

避難場所へ移動したくても、家の前へ流れ込む濁流の水位の上昇が早すぎて移動できず、自宅の2階でじっと台風が通過するのを心細く待たれた方も多くおられたようです。もう少し雨量が多かったら…あの時点で雨がやまなかったら…と考えると反省材料が多くあります。

翌朝には、各地の被害に対応すべく役場の各担当課をはじめ、可能な限りの職員を復旧作業に動員しました。私も、現地に出向き災害現場の状況把握に努めました。そこで被害にあわれた方々が親類や地元消防団、隣近所などと協力し合って、家屋に浸入した泥や、ゴミの撤去作業などにあたられているところを目の当たりにし、その被害箇所の多さと混乱した状況に愕然としました。

現地では、早く普段の生活に戻ろうと、自治会の皆さんが総力をあげて復旧に取り組まれていました。被害ゴミの収集には職員や社会福祉協議会、教職員等が休日返上であたってくれました。また、今日は上郡中学校の生徒約450名がこの作業を手伝ってくれました。

今後も、一刻も早く復旧作業が進むよう、職員一丸となって職務にあたるとともに、これから発生する可能性のある異常事態への対応のためにも、今回の経験を最大限に生かして危機管理の体制の充実に努めたいと考えています。

10月4日

▶学校の先生もゴミ収集作業に協力

町長からの手紙 ⑳

—台風21号の被害—

安則眞一

9月29日、夕刻より西日本一帯を襲った台風21号は、西播磨地域に局地的な大雨を降らせ、上郡町にも大きな爪跡を残しました。まずはこの度の台風で被害にあわれました方々に、心よりお見舞い申し上げます。

台風16号と18号の暴風雨が農作物に多大な被害を及ぼした後に襲来したこの台風21号は、前の2つとは比較にならないほどの集中豪雨で、洪水による床上、床下浸水や道路や農地への冠水、土砂崩れなど、本町の歴史上に残る大きな被害をもたらしました。

役場では、播磨南西部への警報が発令された後、すぐに水防本部を設置し、消防署や消防団との連携をとりながら各地の状況把握や、土嚢の準備にあたっていましたが、水位の上昇が急であったため追いつかず、また、冠水により交通網が遮断される状況が発生しました。その後は、町内各地からの電話が役場に集中する中での避難勧告や救助などの活動となりました。

千種川の濁流は堤防を越え、赤松地区や、井上から大持、駅前に、また、